

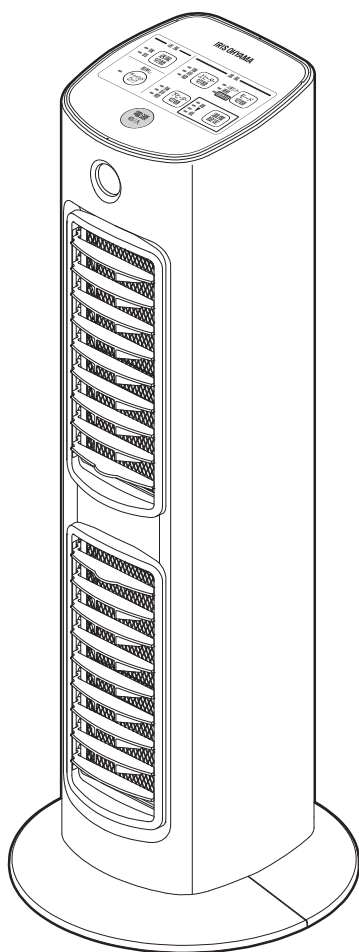


IRIS OHYAMA

家庭用

人感センサー付 セラミックファンヒーター JCH-12DH

取扱説明書



保証書付

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

本製品を
安全にお使い
いただくために

●運転中と停止直後の吹出口にさわらない

運転中と停止直後の吹出口は高温になっていますのでさわらないでください。さわるとやけどの危険があります。

図記号の意味



注意を促す記号です。



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「指示」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない
発火・感電の原因になります。
- 吹出口の前方60cm以内に物を置かない
高温になり火災などの原因になります。
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
感電・故障の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなど可燃性のもののそばで使わない
- 食用油など油成分の浮遊している場所で使わない
火災の原因になります。



分解禁止

- 絶対に分解・修理・改造はしない
発火・けが・異常動作の原因になります。



禁止

- すき間からものや手を入れない
吹出口やすき間にピンや針金など金属物を入れないでください。
感電やけがの原因になります。



禁止

- スプレー缶などを本体の近くに置かない
爆発や火災の原因になります。

下記のような異常を感じたときは



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・発火・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- ・こげくさいにおいがする
- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・連続運転中なのに時々止まる
- ・運転中、異常な音がある
- ・触れるとビリビリ電気をを感じる

電源プラグ／電源コードが破損・変形しているときは直ちに使用を中止し、販売店または弊社修理専用コール（本書記載）に交換を依頼してください。



禁止

- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やベットの近くで使用しない
やけどや低温やけど・けがや感電のおそれがあります。
- 温度感覚が十分でない人、からだが不自由な人に長時間使用しない
低温やけどや、狭い空間では脱水症状のおそれがあります。



禁止

- 屋外では使用しない
故障してショートや発火の原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用し、延長コードは使用しない
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。
- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。



禁止

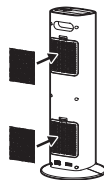
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
発火・感電の原因になります。
- 電源コードはたばねて通電しない
火災の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
火災・感電の原因になります。



禁止

- フィルターを装着しないで運転しない
ほこりなどがヒーター部に入り、
発火・火事の原因になります。

フィルターが汚損・破損した場合は交換してください。
交換用フィルターについてはアイリスコールへ
お問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



禁止

- 火気や暖房器具などに近づけない
本体・電源コードなどが変形・変色・ショートし、発火の原因になります。
- 吸気口や吹出口をふさがない
- フィルターカバーやフィルターを外した状態で使用しない
過熱や誤動作の原因になります。
- カーテンや布団など燃えやすいものの近くで使用しない
カーテンや布団などの変色や、火災の原因になります。
- 暖房機、テレビ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない
転倒すると火災や電気製品の故障の原因になります。
- 乾燥など、他の用途に使わない



必ず実施

- 本体は水平で安定した床の上に設置する
不安定な場所では本体が転倒するおそれがあり、けがや火災の原因になります。



プラグを抜く

- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になるおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、プラグを持って引き抜く
コードが破損し、発火・ショート・感電の原因になります。

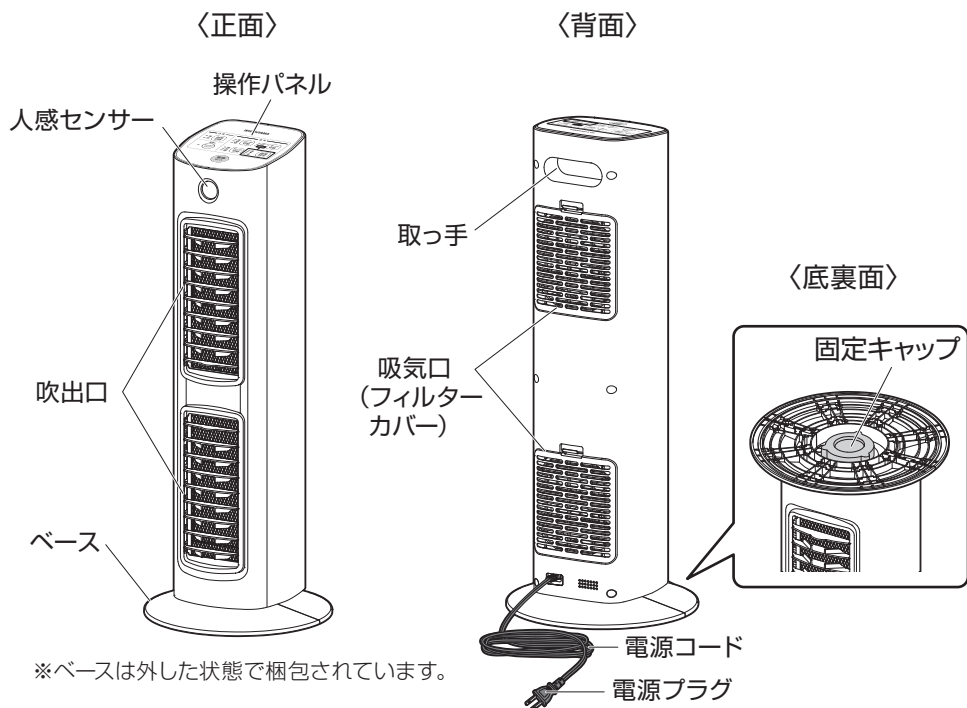


禁止

- 製品の上に乗ったり、寄りかかったり、物を置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。

各部の名称

■ 本体



■ 操作パネル

送風切替ボタン

ボタンを押すたびに、以下の順番で切り替わります。

強 → 弱

チャイルドロック

長押し3秒以上でロックや解除ができます。

下ヒーター切替ボタン

下部のヒーターの温度を切り替えます。ボタンを押すたびに、下の順番で温風が切り替わります。

強 → 弱 → 切

上ヒーター切替ボタン

上部のヒーターの温度を切り替えます。ボタンを押すたびに、下の順番で温風が切り替わります。

強 → 弱 → 切

モード切替ボタン

各運転モードに切り替えます。

・人感センサー
人感センサーにより自動でON・OFFする。

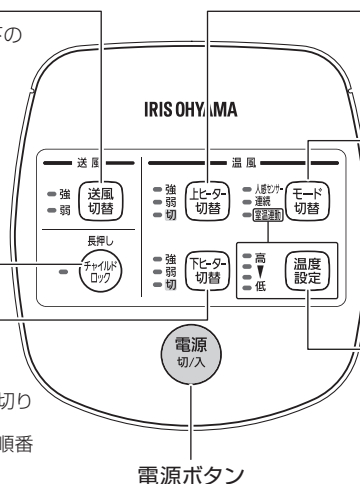
・連続
常時運転を続ける。

・室温連動
温度設定に合わせて自動でON・OFFする。

温度設定ボタン

暖房の温度設定をするときに押します。ボタンを押すたびに、下の順番で温度が切り替わります。

温度設定	室温(目安)
高	28℃
	25℃
	22℃
低	19℃



組み立て方

人感センサー付セラミックファンヒーター JCH-12DH のベースは分解して梱包してありますので、下記の説明にしたがって正しく組み立ててください。

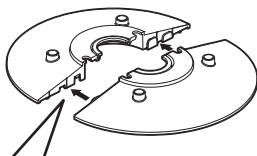


注意

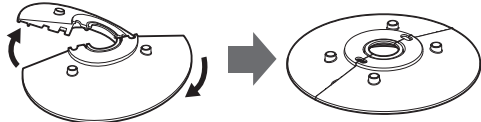
- ベースを付けないまま運転しないでください。けがの原因になります。
- 組み立て前や組み立て中に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。けがの原因になります。

1 ベースの組み立て

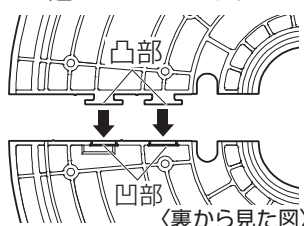
2つに分かれているベースの前後パーツを組み合わせます。



- 片側の凹凸を合わせ、回すようにして組み合わせます。

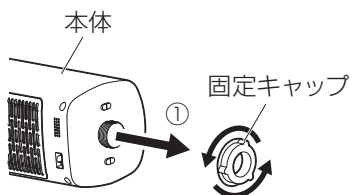


※ベースには凸部と凹部が互い違いについています。

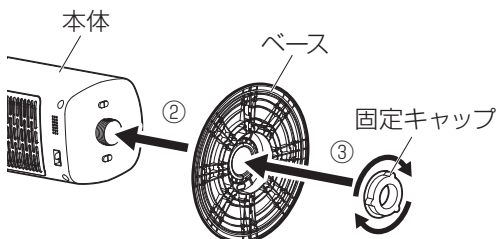


2 ベースと本体の組み立て

①本体から固定キャップを取り外します。



②本体底面の突起  にベースの穴を合わせます。

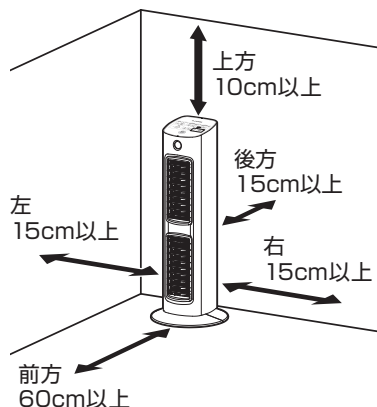


③ベースの裏から固定キャップを締めつけて固定します。

使い方（設置）

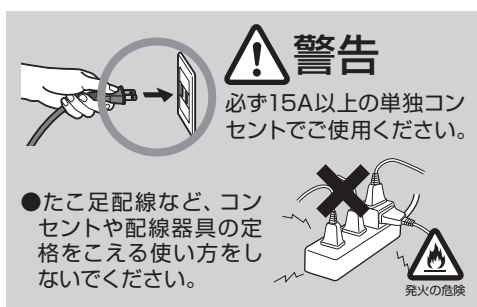
■安全で安定した場所に設置する

水平で安定した場所に設置してください。
放熱確保のため、右図を参考にして、周囲との距離を確保してください。左右どちらかは必ず開放してください。



■使用するコンセントを確かめる

コンセントの定格容量をこえた使い方は、火災の原因になります。必ず定格容量以下でご使用ください。



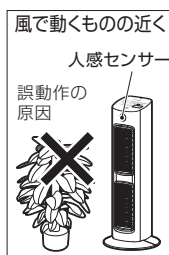
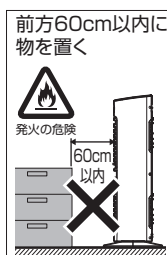
■設置場所の周囲を確かめる



警告

- コンセントの真下に設置しないでください。
- カーテンやタオルなどで吸気口および吹出口をふさぐ可能性のある場所には設置しないでください。
- 燃えやすいものやスプレー缶などを近くに置かないでください。火災の原因になります。
- 吹出口の前方60cm以内に物を置かないでください。

- 風で動くものなどを人感センサーの範囲内に置かないでください。
- 人感センサーの範囲内に熱源を置かないでください。誤動作の原因になります。



使い方（使用上の注意）

■ 設置場所を移動する



警告

本機は用途に応じてさまざまな場所へ設置できますが、使い方を誤ると重大な事故の原因になります。下記注意事項をよくお読みになり、安全にお使いください。

- 電源を切り送風が停止してから電源プラグを抜き、本体背面の取っ手を持ち設置場所へ移動してください。

※ 運転中に倒したり傾けたりすると、ブザーが鳴り運転が停止します。

※ 本体移動直後は、安全装置が働き操作ボタンが一瞬反応しないときがあります。



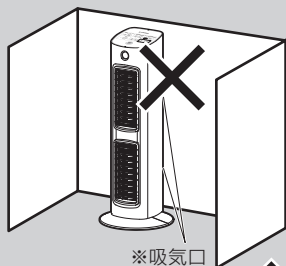
警告

- 吸気口をふさがないでください。機器内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります（壁から15cm以上離してください）。
- お子さまやペットが近づかない場所で使用してください。やけどをする危険があります。
- 熱源を持った機器（他の暖房器具・自動掃除ロボットなど）が近づかないようにしてください。機器の誤動作や故障の原因になります。
- 設置場所の上部には、燃えやすいものや水などが流れ落ちる可能性がある物を置かないでください。火災の原因になります。
- こたつの中で使用しないでください。火災の原因になります。
- ソファや折りたたんだタオルなど、不安定で柔らかい物の上で使用しないでください。火災の原因になります。



警告

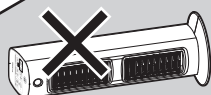
下記のような使い方は絶対にしてください。



※ 吸気口
（背面）

吸気口を壁に近接した状態での使用。

吸気口を壁から15cm以上あけてください。

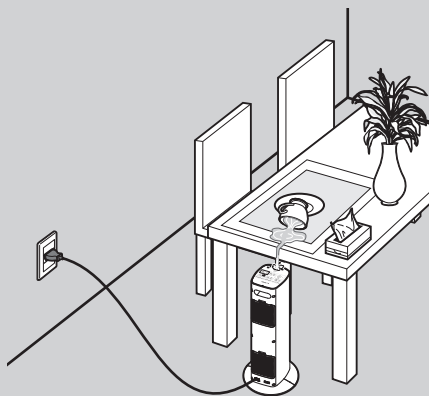


寝かせた状態での使用
（動作しません）



注意

テーブルの下に配置した場合など、本機の上部にある可燃物や液体の落下にご注意ください。



注意

- ほこりが溜まりやすい環境への設置は避けてください。

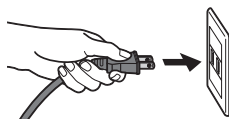
使い方（温風運転・送風運転）

1 電源を入れる

電源プラグをコンセントへ差し込み、「電源」ボタンを押します。



注意 ● 単独コンセント使用のこと



- 「電源」ボタンを押すと、「モード：人感センサー」「上ヒーター：強」「下ヒーター：強」で運転が開始されます。

※ チャイルドロック表示(赤)点灯中は電源が入りません。チャイルドロックを解除してください。解除方法 → 「使い方（チャイルドロック機能）」参照

2 温風運転

モード設定をする **モード切替** で切り替えます。

人感センサー → 連続 → **室温運動** の順に切り替えます。

■ 上下ヒーターの設定をする

上ヒーター切替

ボタンを押して、上部ヒーターを「強」「弱」「ヒーター切」の順に切り替えます。

下ヒーター切替

ボタンを押して、下部ヒーターを「強」「弱」「ヒーター切」の順に切り替えます。

ご注意

- ・ 上ヒーターと下ヒーターをどちらも「切」にすると、「切」のLEDランプが点灯した状態で運転停止状態になります。
- ・ 温風運転時は、ヒーターが「切」になると必ず冷却のための送風運転が30秒行われますので、電源プラグを抜かないでください。
- ・ 「強」運転で開始する場合、予熱のため15秒間は「弱」運転になります。

室温運動モード

「室温運動モード」は、室内の温度を感知して自動でヒーターを「入」「切」するモードです。

■ 温度設定をする

温度設定

ボタンを押して、設定温度を「高(28℃)」→「25℃」→「22℃」→「低(19℃)」の順に切り替えます。(※数値は室内の温度の目安です。)

温度設定

押す **高(28℃)** → **25℃** → **22℃** → **低(19℃)**

LED表示			
ヒーター運転時		ヒーター停止時	
室温運動	温度設定	室温運動	温度設定
点灯	点灯	点灯	ゆっくり点滅

- 設定温度になるとヒーターが自動で「切」になります。また、設定温度より2℃低くなった場合、自動でヒーターが「入」になります。
- 「室温連動モード」運転では、ボタン操作がない状態が約2時間続くと、安全のため運転停止状態になります。

連続モード

「連続モード」は、室温連動や人感センサーを使用せずに連続して運転するモードです。

ご注意

「連続モード」運転中は、温度設定ができません。

- 「連続モード」運転では、ボタン操作がない状態が約2時間続くと、安全のため運転停止状態になります。

人感センサーモード

「人感センサーモード」は、人感センサーを使用して熱源（赤外線）を感知し人がいると判断して運転するモードです。

ご注意

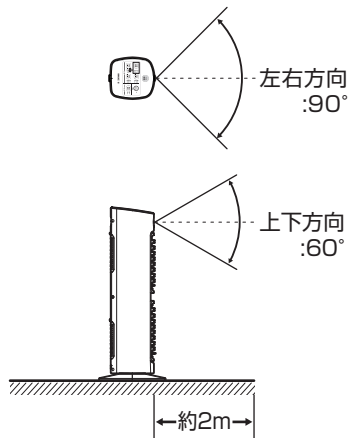
「人感センサーモード」運転中は、温度設定ができません。

人感センサーの説明

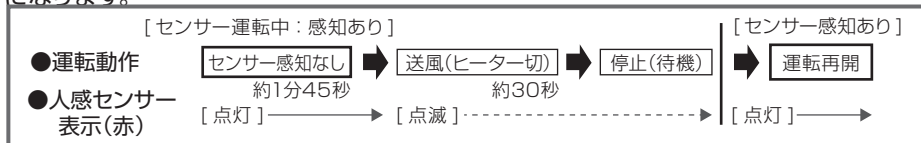
人感センサーの動作について

本製品に搭載されている人感センサーは、感知範囲内の熱源の動き（温度変化）に反応します。人感センサーの範囲内に感知対象が入ると、設定されているモードで自動的に運転を開始します。人感センサーが規定の時間感知できないと、送風を30秒間行いセンサー運転待機（停止）状態になります。

■ 人感センサーの感知範囲

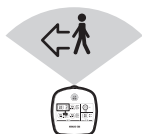


人感センサーの感知状態により、本機の動作と人感センサーモード表示は以下のようになります。

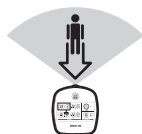


※ 人感センサーは、感知がない状態が連続でおおよそ12時間続くと、電源（切）状態になります。

- 人感センサーの特性上、下のような場所では動作しなかったり誤動作する場合があります。
 - ・カーテンの近くや風などで揺れるもの（植物など）の近く
 - ・センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - ・加湿器やエアコンなどの送風を受ける場所
- 人がいても、動きが小さかったり、じっとしている時には運転を停止します。
- 人以外のペットや熱を出す器具（他の暖房器具・お掃除ロボット）にも反応する場合があります。



横切る方向へ動くときより
感知しやすくなります。



ゆっくり正面から近づいた時は
感知しにくい場合があります。



注意

人感センサーの感知範囲に、予期しない熱源が入り本機が動作しても問題のない状況でご使用ください。

3 送風運転

モード設定をする **送風切替** で切り替えます。

送風モード

「送風モード」は、ヒーターを切って室内の空気を循環させたいときに使用します。

■ 送風の強弱の設定をする

送風切替

ボタンを押して、「強」「弱」の順に切り替えます。

ご注意

- ・送風運転中は、温風運転の機能（室温連動、温度設定、人感センサーなど）が使用できません。
- ・送風モードでは上下の吹出口から同時に送風（ヒーター切）されます。

- 送風運転では、ボタン操作がない状態が約2時間続くと、安全のため運転停止状態になります。

4 運転を停止する

電源切/入

ボタンを押して運転を停止します。

ご注意

- ・温風運転時は、ヒーターが「切」になると必ず冷却のための送風運転が30秒行われますので、電源プラグを抜かないでください。

- 電源を「切」にすると、直前の設定を記憶します。
- 電源プラグを抜くとすべての設定は初期状態に戻ります。



注意

電源プラグを抜く場合は、必ず先に「電源」ボタンを押して停止してください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

使い方（チャイルドロック機能）

1 チャイルドロックをする

お子様などにいたずらされないよう、本製品から離れる際は [チャイルドロック] をしてください。

電源
切/入

……「入」の状態……

チャイルド
ロック

- [チャイルドロック] ボタンを 3 秒以上長押しする。(赤色 LED 点灯)

電源ボタン以外の
全てのボタンがロックされます。

電源
切/入

……「切」の状態……

チャイルド
ロック

- [チャイルドロック] ボタンを 3 秒以上長押しする。(赤色 LED 点灯)

電源ボタンを含む
全てのボタンがロックされます。

※ 電源（切）後、内部冷却のため約30秒間送風運転を行います。その間チャイルドロック操作はできませんので注意してください。

- ※ 運転中でチャイルドロック動作中は、[電源] ボタンの「切」のみ有効です。
- ※ 電源を切った場合や、本体が転倒して運転が自動停止した場合にはチャイルドロック表示（赤）が点灯したままになり、電源は入りません。
- ※ 使用する際はチャイルドロックを解除してください。→「チャイルドロックを解除する」参照
- ※ 電源プラグを抜くとチャイルドロックが解除されます。注意してください。

2 チャイルドロックを解除する

チャイルドロック時に [チャイルドロック] ボタンを 3 秒以上長押しします。
(赤色 LED 消灯)

チャイルドロック動作中に電源プラグを抜くと、チャイルドロックは解除されます。

お手入れの仕方



警告

- お手入れは必ず電源を切ってから電源プラグを抜き、本体が十分に冷えてから行ってください。

■ フィルターお手入れの方法

本体背面のフィルターカバー（2か所）を外して、フィルターを取り出し、ほこりを取り除いてください。



警告

- フィルターは掃除後に必ず本体に装着してください。装着しないとほこりが機器内部にたまり、発火・火災の原因になるおそれがあります。

フィルターが汚損・破損した場合は交換してください。
交換用フィルターについてはアイリスコールへお問い合わせください。

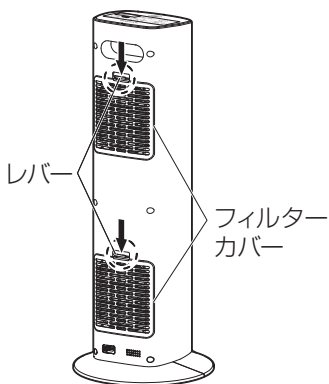


注意

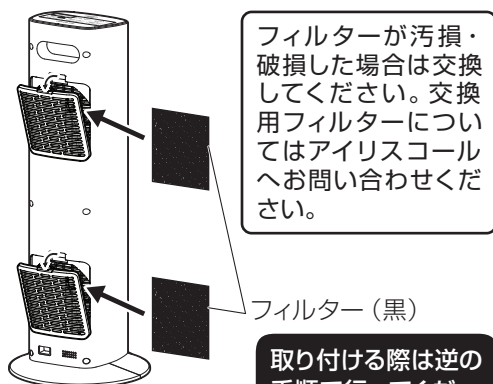
- フィルターは一週間に1回程度、温風吹出口／吸気口はひと月に1回程度の掃除をしてください。ヒーター部や吸気フィルターにほこりがたまると、煙やにおい・機能低下・火災などの原因になります。
- フィルターは水洗いをしないでください。
- フィルターのお手入れに掃除機をご使用の場合は、フィルターを平面に置き、破損防止のため必ず手で押さえながら掃除機の[弱]吸引運転で行ってください。
- フィルターは手荒に扱うと破損するおそれがあります。ていねいに扱ってください。

● フィルターカバーの外し方

1. フィルターカバーの上部にあるレバー 1 ヶ所を、押し下げたまま手前に引きます。
2. フィルターカバーとフィルターをいっしょに取り外します。
3. 内部のフィルターを取り出し、フィルターとカバー内部のほこりを取り除きます。
4. ほこりを取り除いたあと、フィルターとフィルターカバーを本体へ戻してください。



フィルターカバー上部のレバー 1 か所を押し下げる



フィルターカバーを手前に引く

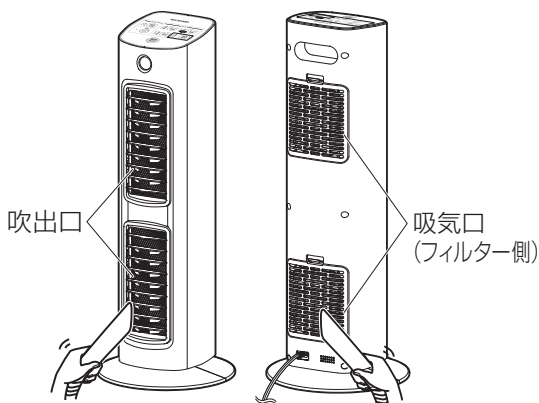
フィルターが汚損・破損した場合は交換してください。交換用フィルターについてはアイリスコールへお問い合わせください。

取り付ける際は逆の手順で行ってください。

■ 吹出口／吸気口お手入れの仕方

掃除機などを使用してほこりを取り除いてください。

お手入れ後、はじめて運転をしたときは、吹出口から臭いが出たり、取り残したほこりが飛び出すことがあります。すぐに収まれば問題はありません。



■ 本体、人感センサー

柔らかい布に水を含ませて固くしぼって拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固くしぼって拭いてください。



注意

- 水をかけたり、水に沈めたりしないでください。
- アルコール・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

■ 電源コード、電源プラグ、コンセント接続部

● 電源コード、電源プラグ

乾いた布で拭いてほこりを取ってください。

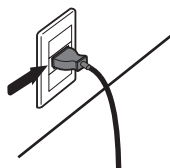
お手入れの際、強く圧迫したり叩いたり、引っばったりしないでください。

● コンセント接続部

コンセントを含め、電源プラグとの間にほこりが溜まっている時は、電源プラグをはずしてほこりを取り除いてください。放置するとトラッキング現象の発生原因になります。

トラッキング現象とは・・・

コンセントへ長期間差し込み続けることにより、コンセント接続部にほこりなどが堆積し、空気中の湿気を吸収し微小な漏電スパークによる発熱で電源プラグが炭化し、最悪の場合は発火に至る現象。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
電源が入らない	→ ●電源プラグがコンセントに接続されていない	→ ●電源プラグをコンセントに接続してください。
	→ ●チャイルドロックが働いている	→ ●チャイルドロックを解除してください。 （「使い方（チャイルドロック機能）」参照）
運転しない	→ ●電源が「切」になっている	→ ●電源プラグをコンセントに接続して、電源ボタンを押してください。
	→ ●上ヒーター、下ヒーターが「切」になっている	→ ●「強」または「弱」にしてください。
	→ ●人の動きがなくなり人感センサー自動運転が働いている	→ ●人感センサーに動きを感知させるか、連続運転に切り替えてください。
	→ ●室温が「室温連動モード」の設定温度以上になっている	→ ●温度設定を高くしてください。（「使い方（温風運転・送風運転）」参照）
	→ ●チャイルドロックが働いて運転を停止している	→ ●チャイルドロックを解除してください。 （「使い方（チャイルドロック機能）」参照）
	→ ●内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている	→ ●本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷えてから再度運転をしてください。
温かにならない	→ ●送風モードになっている	→ ●[モード切替]を押して温風モードにしてください。
温風が出ない	→ ●電源が「切」になっている	→ ●電源プラグをコンセントに接続し、電源ボタンを押してください。
異臭がする	→ ●はじめて運転をしたため	→ ●はじめてご使用になる時は、においや煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。
	→ ●フィルターが汚れている	→ ●フィルターは定期的にお手入れしてご使用ください。
	→ ●吸気口または吹出口が汚れている	→ ●吸気口または吹出口を掃除してください。
温風が止まらない 勝手に運転している	→ ●センサー運転時に人の動きを感知し続けている。または人感センサーの範囲内に、風で動くものや熱源がある。または強い反射光がセンサーにあたっている	→ ●感知範囲内の動くものや熱源となるものを移動させてください。 ●センサーに反射光があたっていたら、光を防いでください。

転倒安全スイッチについて

本製品には、転倒時の火災事故防止のために、傾くと電源が「切」になるスイッチが内蔵されています。傾きや凹凸のある場所へ設置すると、このスイッチが働いて電源が入らないことがあります。このような時は平で安定した場所へ本製品を設置してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



警告

●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

品番	JCH-12DH
製品サイズ	幅270×奥行270×高さ710mm
製品質量	約3.8kg
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 / 60Hz
定格消費電力	50 / 60Hz : 1260W
消費電力	温風（上ヒーター／下ヒーター：強） 50 / 60Hz : 1260W
	送風（強） 50Hz : 28W 60Hz : 26W
安全装置	電流ヒューズ、温度ヒューズ、サーモスタット、転倒安全スイッチ
主要材質	ABS樹脂、スチール
電源コード長さ	約2.0m

- ※ この製品は海外ではご使用になれません。
※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

人感センサー付セラミックファンヒーター JCH-12DH 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（フィルターなど）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にならない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール（通話料無料）

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール（通話料無料）

0120-311-564

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは（通話料無料）

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください